

JR東日本の一部路線で「スマホ定期券」のモニタリングを実施します！

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR東日本」）は、沿線の高校にご協力いただき、ウェルネット株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮澤 一洋、以下「ウェルネット」）と共同で、2019年9月1日からJR東日本の一部路線の通学定期券について、「スマホ定期券」のモニタリングを実施いたします。
- 「スマホ定期券」は、ウェルネットが提供するスマホアプリ「バスもり！」を活用し、お客さまご自身で「バスもり！」アプリをダウンロードすることにより、スマホの操作だけで簡単に定期券を購入、乗車ができるサービスです。
- JR東日本では、今回のモニタリングを通じて、運用面での課題などを洗い出し、更なるサービス向上に取り組んでまいります。

1 目的

JR東日本では、首都圏や仙台・新潟エリアで、モバイルSuicaを活用して駅の窓口にお越しいただくことなく、定期券を購入できるサービスを展開しています。しかし、Suica等の交通系ICカードの未導入線区では、定期券を発行するためにお客さまに駅の窓口までお越しいただく必要があります。

今回、ウェルネットとの連携により、駅の窓口にお越しただかなくても通学定期券を購入できる仕組みを試行導入することで、お客さまサービスの向上を図ります。

2 サービスの概要

お客さまのスマホから定期券を申し込むことができ、また、スマホ自体が定期券となりますので、あらためて駅で定期券を購入する必要がありません。代金の支払いは、クレジットカード決済のほか、コンビニや金融機関のATMなど多様な支払い方法に対応しているほか、ウェルネットが提供する支払アプリ（「支払秘書」）を活用すると申込みから支払いまでの全てがスマホで完結します。

利用方法等の詳細は別紙資料をご参照ください。

3 実施時期

2019年9月1日から2020年3月31日まで

4 対象区間

- | | |
|----------|-----------|
| (1) 水郡線 | 矢祭山～磐城守山間 |
| (2) 奥羽本線 | 大石田～真室川間 |
| (3) 陸羽東線 | 新庄～最上間 |
| (4) 陸羽西線 | 新庄～古口間 |



「スマホ定期券」画面イメージ。

※イメージであり、今後変更になる可能性があります。

- (5) 気仙沼線 BRT 柳津～気仙沼間
- (6) 羽越本線 本楯～西目間
- (7) 上越線 越後湯沢～浦佐間
- (8) 小海線 清里～小諸間
- (9) 飯山線 豊野～森宮野原間

5 対象券種

通学高校（1・3・6か月）

※ スマホから、資格確認用情報の入力と本人確認用写真を撮影・画面表示を行うことで、駅窓口へ「通学証明書」を提出する手続きを省略いたします。



スマホ定期券 サービス概要

スマホ定期券の概要

「スマホ定期券」とは、ウェルネット株式会社が提供するスマートフォン用高速バス乗車券購入・利用アプリ「バスもり！」を活用した駅に立ち寄らずに定期券を購入できる新たな定期券サービス

ストレスフリーな購入スタイル

- ・スマートフォンから定期券の申込みが可能
- ・学校との連携により、通学証明書による資格確認を省略
- ・スマートフォン自体が定期券となり、駅での発券が不要



確認しやすい定期券

- ・スマートフォンの画面に券面を表示し、バックライトによる視認性向上
- ・スマートフォン自体が定期券となり、所持し忘れるリスクを低減



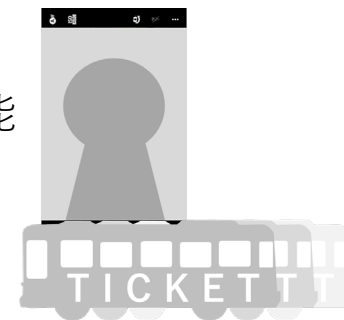
多様なニーズに応える支払方法

- ・クレジットカードのほか、コンビニや金融機関のATMなどお客さまの都合に合わせた支払方法を選択可能
- ・ウェルネット(株)が提供する支払アプリ、「支払秘書」を活用するとスマホ完結サービスを実現



スマートフォンならではの不正防止

- ・静止画、動画による複製を防止する機能を実装
- ・友人同士の貸し借りによる他人使用は券面に顔写真を表示することで防止



「バスもり！」の概要



「バスもり！」トップ

主な機能

- ・ 高速バスの検索、予約
- ・ 高速バスや路線バスの乗車券の購入
- ・ 路線バス及び一部鉄道線の定期券の購入
- ・ 路線バス及び高速バスの回数券の購入

導入企業

- ・ JRバス関東株式会社
- ・ JRバス東北株式会社
- ・ 北海道旅客鉄道株式会社

ウェルネット株式会社について

- ・ 電子請求、電子決済ソリューションを提供する決済代行※企業
- ・ コンビニやクレジットカード、ATM、電子マネー支払いなど幅広いサービスを提供
- ・ 主な導入先企業として、ANA、花王、ヤマハ、鉄道事業者ではJR西日本がe5489のコンビニ決済で導入



※事業者と決済会社の間に入って、クレジットカード決済や電子マネー決済、キャリア決済、銀行振込、代金引換などの様々な決済方法を提供するサービス

サービス内容 ①申込み

「スマホ定期券」はスマートフォンから定期券の申込みを行うことができ、スマートフォンがそのまま定期券になることから、支払いや発券で駅に立ち寄ることなく利用が可能

情報入力



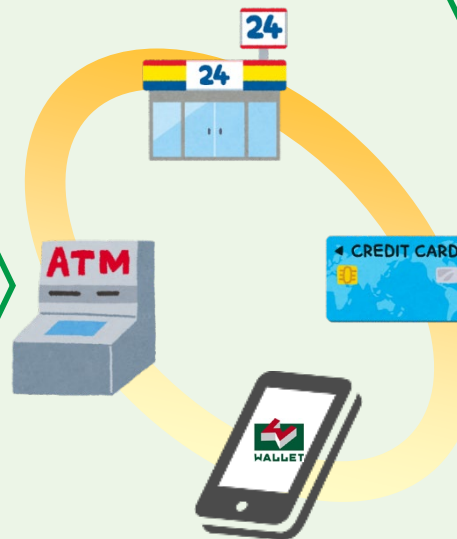
スマホから区間や期間等、定期情報を入力

確認情報登録



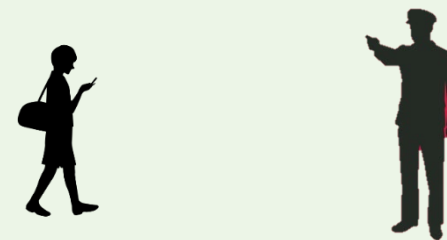
資格確認用情報の入力と、本人確認用写真を撮影

お支払い



定期運賃をお好み※の方法でお支払い

購入完了



定期券の購入完了アプリ上に券面表示

※支払い可能なクレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関は現在選定中

サービス内容 ②決済

定期運賃のお支払いにはコンビニ、金融機関ATM、支払秘書、クレジットカードが選択可能であり、お客さまのご都合に合わせた支払いスタイルを確立



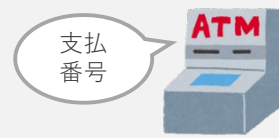
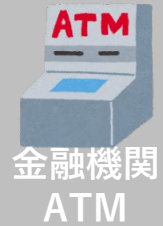
申込完了



コンビニ



マルチ端末にアプリから出るQR又は申込番号入力



アプリに表示された支払番号等をATMに入力



現金又はキャッシュカードにてお支払い



支払秘書



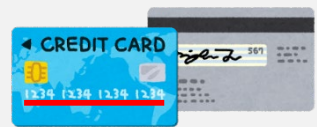
「支払秘書」に銀行口座登録アプリにチャージ(入金)



申込画面にてチャージ金額よりお支払い



クレジットカード



カード番号、有効期限を確認



申込画面にカード情報を入力



決済完了

参考：「支払秘書」の概要

支払秘書とはウェルネットが提供する銀行口座等と連携した支払サービス。銀行口座等から支払秘書へ入金（チャージ）することで、「スマホ定期券」の決済にも利用可能

支払秘書

スマホが、秘書になる

支払秘書なら、ダウンロードして3ステップで支払えます。

1. 新規登録
2. アプリにチャージ
3. バーコードを読み込んでお支払い



アプリをインストール・登録



アプリにチャージ（入金）

- ・銀行口座連携
- ・コンビニ入金
- ・ネットバンキング入金



スマホ定期券のお支払い

- ・チャージしている金額からのお支払い



1

2

3

ウェルネット(株)ホームページより (<https://wellnet.jp/>)

サービス内容 ③定期券利用

「スマホ定期券」では、アプリ上で定期券面を表示し、駅係員や乗務員による目視確認を実施。アプリの機能により、決済済みかつ有効期間内の定期券のみ券面を表示するため、有効期間偽装による不正利用を防止。

有効期間前

表示
不可

有効期間前の定期券面は
表示不可（アプリ制御）

有効期間内



有効期間内で決済が完了している
定期券に限り、アプリで表示

有効期間後

表示
不可

有効期間後の定期券面は
表示不可（アプリ制御）

サービス内容 ④不正防止

スマートフォンの画面に定期券を表示する性質上、スクリーンショットや録画などによる券面の複製、友達との貸し借りによる他人利用などの不正利用対策をアプリ機能で実施

複製防止（静止画）



定期券面を表示中は券面背景のアニメーションが動作し、写真による複製を防止する。

複製防止（動画）



スマートフォンの画面録画機能を感じると、券面に録画を知らせる警告文を表示

他人使用

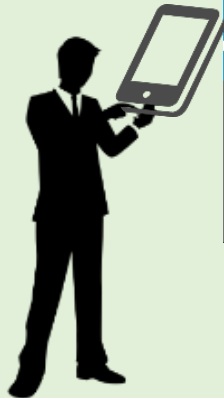


定期券面に、申込時に撮影した顔写真を表示し、改札時の本人確認に使用

サービス内容 ⑤払戻

「スマホ定期券」では、払戻の申し込みから返金額の計算をアプリ内完結で実施。お客さまへの返金は、ウェルネット株式会社が提供する「送金サービス」を用いて、お客さまの都合に合わせた返金方法を選択可能

払戻の申し込み



予約一覧

決済待ちの予約はありません

今も有効な予約 すべての予約

購入済

定期券

通学定期券 (高校)

野辺地 ~ 下北

領収書 詳細 払戻

購入済みの定期券の払戻を
アプリから申し込み

返金額の計算

払戻計算

購入金額： AA,A00円

利用日数： BB日
利用金額： ▲C,CC0円
払戻手数料： ▲DD0円

返金額： E,EEE0円

アプリ内で利用日数に応じ
た返金額を自動計算

コンビニ※

返金番号を提示し、
コンビニのレジにて返金



銀行口座※

指定口座にウェルネットか
ら振込



クレジットカード

購入したクレジットカード
に返金



※購入時の支払方法がクレジットカード支払以外の場合、コンビニか銀行口座返金いずれかを選択可能